

様式 C-13 [作成上の注意]

- この申請書は、研究代表者が育児休業等により研究を中断し、翌年度の育児休業等の終了後に補助金の再交付を希望する場合に、研究代表者がA4判（縦長）で作成し、研究代表者の所属する研究機関において育児休業等の開始年月日及び終了予定年月日を確認の上、所属する研究機関を經由して、事前に提出すること。
 なお、特定領域研究については事前に領域代表者の了解を得る必要があるので留意すること。
 本様式の提出に当たっては、交付申請書の写を一部添付すること。
- 「(3) 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、この欄を含め全ての間接経費欄に「0」を記入すること。
- 「(4) 1) 支出済額」欄には、この申請書の提出時の支出済額（当該研究のために使用した利子（預貯金利息）は除く。）を記入すること。
- 「(4) 1) 支出済額」欄の④の間接経費の額は、円未満を切り捨てた額を記入すること。

補助金の使用状況

利子（預貯金利息）		}	支出済額 → (4) 1) に記入
直接経費	間接経費		
		}	未使用額 → (4) 2) に記入（＝返還額）

- 「(5) 育児休業等の開始予定年月日及び終了予定年月日」欄には、研究代表者の所属研究機関において承認された育児休業等の開始予定年月日及び終了予定年月日を記入すること。
- 「(6) 変更交付決定額」欄には「(3) 交付決定額」欄の金額から「(4) 2) 未使用額」欄の金額を差し引いた金額を記入すること。